

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月20日

協議会名: 浜松市地域公共交通会議

評価対象事業名: 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
遠州鉄道株式会社	<p>【安全輸送設備(投資)】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>線路設備 (資料 P4) レール重軌条化 (遠州芝本駅～遠州岩水寺駅間)</li><li>信号保安設備 (資料 P5 P6) 信号機更新 (自動車学校前駅) CTC装置の更新 (遠州小松駅、浜北駅、遠州小林駅) PRC装置更新 (遠州西ヶ崎駅 運転指令室)</li><li>電路設備 ちょう架線更新 (第一通り駅～八幡駅) (遠州病院駅～助信駅) き電線更新 (遠州芝本駅～岩水寺変電所間)</li><li>車両設備 (資料 P7) 制御装置(VVVF制御装置) (1編成2台) 電源装置(SIV装置) (1編成1台) 車両更新 (新造1編成2両)</li></ul> <p>【安全輸送設備(修繕)】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>車両保存費 車両重要部検査(3編成6両) 車輪削正(3両) 車輪交換(3両)</li></ul>	前回に引き続き、計画的な施設の更新により、さらなる安全性の向上を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 信号保安設備、線路整備、車両整備の更新により、沿線住民の安全性向上も図ることができた。	今後も、計画的な施設の更新により、さらなる安全性の向上を図る。

資料6-1

【参考】  
事業費 : 570,778千円  
負担割合 : 国188,368千円、県0千円、浜松市0千円、遠鉄382,410千円

資料6

# 安全報告書

【鉄道事業】



2025年7月

## 5. 安全確保のための取り組み

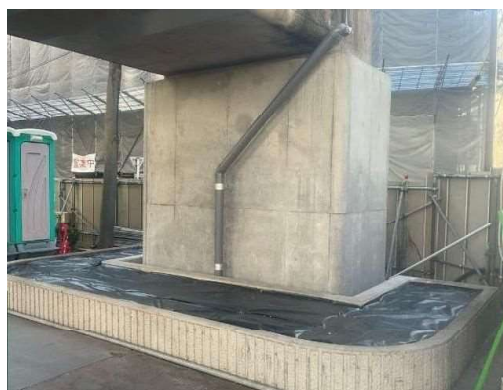
### 5-1 施設の安全対策

#### ◆耐震補強工事とバリアフリー改修工事

当社の鉄道線は都市計画事業により路線のおよそ3分の1が高架化されましたが、供用から30年を超える第1期高架区間では、大規模地震に備える耐震補強工事を進めるとともに、高架駅へのエレベーターや多機能トイレの設置等バリアフリー改修を進めております。

2024年度は、第一通り駅西側橋脚およびホーム屋根の耐震補強工事を実施するとともに、第一通り駅のバリアフリー化に着手いたしました。

引き続き2025年度は第一通り駅東側橋脚の耐震補強工事ならびにバリアフリー化工事を進めて参ります。



【第一通り駅耐震補強工事】

#### ◆ 浸水対策工事

設備が大雨や台風による浸水被害を受けた場合、長期にわたる運休につながる恐れがあり、また多額の修理費用が発生することも想定されます。  
そのため2024年度には、災害時における浸水被害の影響を最小限に抑えるべく、八幡変電所および小林変電所、小林駅信号機器室の入口扉を浸水対策仕様のものへと交換いたしました。引き続き、安定した輸送サービスの確保に努めてまいります。

※2023年度には自動車学校前変電所を施工いたしました。

【八幡変電所】



【小林変電所】



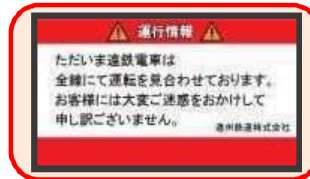
【小林駅信号機器室】



### 【各駅非常時案内モニター & 一斉放送装置の設置】

「非常時案内モニター」は平常時は広告やお知らせを表示しますが、遅延や運休が発生した際に運行情報を表示します。

また、指令センターから「一斉放送装置」を使って、すべての駅に一斉放送することができます。



### 【主要駅へのAED設置】

新浜松・第一通り・遠州病院・上島・遠州西ヶ崎・浜北・西鹿島各駅に設置  
(18駅中7駅に設置)



←【第一通り駅】

【遠州病院駅】→



### ◆軌道（レール）の安全対策

#### 【ロングレール化準備工事】

##### （浜名用水橋りょう重軌条化）

2025年度に予定している重軌条化およびロングレール化の準備工事として、2024年度に遠州芝本駅から遠州岩水寺駅間にある浜名用水橋りょうを重軌条化しました。具体的には、1メートルあたりのレールの重さを40kgから50kgに変更しました。この軌道構造の強化により、耐久性や保守性、乗り心地の改善を図るとともに、列車運行の安全性向上を目指します。



#### 【道床交換工事】

2024年度に、自動車学校前駅南側において道床交換工事を実施しました。この工事では、長年の使用により劣化した砕石を交換しました。これにより、列車走行による振動の吸収および排水機能の向上を図ります。



#### ◆ 電気設備の更新

信号・踏切・電路・通信などの鉄道電気設備の更新および改良に取り組んでおります。列車が運行している時間帯には実施できない作業については、運行終了後の深夜に行い、昼夜を問わず列車の安全運行を支えています。

#### 【CTC装置の更新】

全線の運行状況の把握および遠隔制御を、遠州西ヶ崎に所在する運転指令室にて行うための設備です。遠州小松駅、浜北駅、遠州小林駅に設置されている駅装置および、遠州西ヶ崎駅に設置されている中央装置を更新いたしました。



#### 【き電線の更新】

変電所から電力を供給するための設備です。遠州芝本駅から遠州岩水寺駅までの区間にある設備を更新いたしました。



#### 【吊架線の更新】

電車が安定して電力を集電できるようにするための設備です。第一通り駅から助信駅までの区間にある設備を更新いたしました。





#### ◆電気設備の更新

##### [信号機の更新(LED化)]

自動車学校前駅に設置されている3基の信号機を更新いたしました。  
これまでの電球式からLED式に変更したことにより、視認性が向上いたしました。  
(LED化率 96%)



##### [踏切警報灯の更新(全方向LED化)]

2024年度は4踏切を更新し、通行される方に対する視認性が向上いたしました。  
また、警報灯の数を減らすことができたため、省エネルギー化に加え、点検作業量の削減にも寄与しております。



## ◆車両設備の更新

### 【車両更新】

導入から38年経過した1002号編成を、新造車両2009号編成に更新いたしました。LED前照灯の採用で、客室照明・各種灯火類等車両搭載照明全LED化により消費電力を抑えるとともに信頼性を高め、運行の安定性向上を図ることができます。



### 【インバータ装置更新】

主モーターを制御する「VVVFインバータ装置」および補助電源装置である「SIV装置」について計画的に更新を進めています。2024年度は導入から20年が経過した2003号編成の更新を完了しました。



▲VVVFインバータ装置  
SIV装置▶

### 【車輪交換・電機品更新】

電車の安定走行のため3両分の車輪を交換しました。

電車搭載蓄電池一編成分とATS受信器内蔵電源7台の更新を実施しました。



◀中輪交換

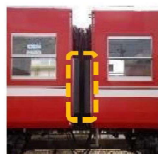
◀蓄電池更新

ATS受信器内蔵電源更新▶

## ◆車両設備の安全対策（一例）

### ・転落防止幌

お客様が誤ってホームから線路上に転落しないように、ゴム製幌を車両連結部に設置しています。



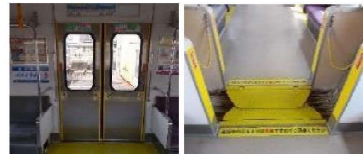
### ・避難梯子

万一、事故等が発生した場合、車外にお客様を避難誘導するための非常用避難梯子を搭載しています。



### ・注意喚起表示

ドア開閉時や通行時の注意喚起ステッカー等を設置しています。



### ・前方監視カメラ

列車運行妨害行為や事故等が発生した際の状況確認及び原因究明を目的として、前方監視カメラを設置しています。



### ・非常用設備の視認性向上

非常通報装置・非常用ドアコックの設置位置や使用方法をピクトグラムを活用したわかりやすい表示としています。

